

ひとりひとりが日本



“3つの柱と9の政策”

今、我が国は危機的な状況に直面しています。30年に渡る景気低迷。苦しくなる一方の国民生活。世界では紛争が続き、食料自給率の低下、エネルギー問題、少子化や移民問題など、国の存亡に関わる課題は手つかずのまま。明るい未来が見えない社会情勢の中で、子供たちは受験戦争にもがき苦しみ、家族観や結婚観という日本人らしいアイデンティティは破壊されようとしています。この状況を解決するには、日本人のひとりひとりが立ち上がるしかありません。政治家やテレビや新聞に任せるのではなく、ひとりひとりが日本そのものであると自覚し、考え行動する時がきたのです。

「ひとりひとりが日本」未来を変えるのはあなたの覚悟と想いです。

日本はまだ間に合う。

1 日本人を豊かにする

の柱 ～経済・産業・移民～

1 “集めて配る”より、まず**減税**
減税と社会保険料の削減により、国民負担率を35%に抑え、積極財政による経済成長で国民の豊かさが持続的に高まる経済構造を実現します。

2 日本はまだ間に合う**“NO! 移民国家”**
労働力不足の解決を、安易な移民依存に委ねません。適正な人口計画を立て、外国人労働者の受入れと外国人の土地取得を制限します。

3 **現場の人が支える日本**
製造業、建設業、運送業、医療介護福祉や警察・消防・自衛官等、現場で汗をかく方々の待遇を改善し、安心して働ける社会をつくります。

2 日本人を守り抜く

の柱 ～食と健康・一次産業・エネルギー～

4 **食は人の天なり**
食を守ることは国家の安全保障そのものです。食の安全を向上させ、食料自給力を高め、国民が決して飢えることのない体制を整えます。

5 エネルギーと資源確保が**生命線**
諸外国も見直しを進めている脱炭素政策を再構築します。再エネ賦課金を廃止し、安く、安全で安定したエネルギーを国内で確保します。

6 **安心医療で健康国家**
過剰な医療や非効率な仕組みは見直しつつ、予防を重視した体制へ転換し、子どもから高齢者まで、すべての人の健康と安心を支えていきます。

3 日本人を育む

の柱 ～教育・人づくり・国家観～

7 子ども一人につき**月10万円**
0～15歳の子ども一人につき月10万円の教育給付金を支給し、若者が子供を授かり育てたいと思える環境をつくります。

8 **受験戦争からの解放**
偏差値重視の教育から脱却し、ひとりひとりの個性、強みが正に評価される教育へと転換します。健全な人格を育む場にします。

9 **日本はみんなの家**
日本の国力が衰える中で、国際情勢も緊迫してきました。「ひとりひとりが日本」という意識改革を起こし、日本の豊かさと平和を守ります。



参政党公認

よしとみ
景子

けいこ

日本の視界をクリアに!

よしとみ景子 プロフィール 平成元年生まれ、福岡出身。九州大学医学部医学科を卒業後、眼科医となる。診療経験を生かし国政へ

比例は **参政党**

とお書きください。

参政党の政策は▶
こちらの特設サイトから!



まっとうな政治に 〇マルを!

終わりの見えない物価高、平和への努力をないがしろにし、社会の分断をあおる嵐が今、私たちの生活を脅かしています。政治も時代の変化に合わせて変わらなければなりません。現役世代、先輩世代はもちろん、未来世代のためにも今、行動しなければなりません。物価高が続くいま、負担を感じているのは、働く人、子育て世代、年金生活の方々など日々の暮らしを支えている「生活者」です。

中道の政治は、生活者ファーストの政治。「まず増税」ではなく、暮らしを守る現実的な選択肢を示します。国の資産を国民のために活かし、得られた利益で生活を支える政策を。対立よりも、納得できる解決を。

私たちはそのために結集しました。まっとうな政治、信頼できる政治を取り戻し、生活、そして未来を変えていきます。

まっとうな政治にマルを。

丸尾けいすけにあなたの一票を託してください。

丸尾けいすけのプロフィール

能古島に漁師の一人息子として生まれ、小学2年生の時に母と死別。父一人子一人で育つ。県立城南高校、九州大学卒、東京大学大学院修了（公共政策学修士）。政策秘書試験に合格し、12年間国会で勤務。2025年に繰り上げ当選し、初の国会で議員立法（障がい児福祉所得制限撤廃法案）を提出。妻、男児3人と東区に暮らす。

まるお 丸尾けいすけとつくる 「生活者ファースト」の政治

- 1.新しい財源をつくり、今年の秋から、恒久的な「食料品消費税ゼロ」実現を
▶現役世代の「社会保険料引き下げ」にも取り組む
- 2.減税と生活支援の二刀流「給付付き税額控除」創設を
▶中所得の方や減税だけでは支援しきれない低所得の方も、まるごと応援
- 3.大胆な「未来投資」教育・科学技術予算の大幅増で日本の成長を
▶教育・子育て支援など「人への投資」、AIなどへのテクノロジー投資
- 4.社会保険料負担で手取りが減る「130万円のカケ」解消へ
▶働く方と企業が負担する社会保険料の一部を国が支援する新しい仕組み
- 5.家賃補助・安価な住宅の提供で「住まいの安心」を
▶家賃高騰の今こそ、若者・学生をはじめ「賃貸住宅にお住まいの方にも確実な支援
- 6.「食農支払」でコメの安定供給と自給率向上、食料安全保障の確保へ
▶「食」料確保のための「農」地維持に対する直接「支払」制度を創設
- 7.「核なき世界」を目指し、非核三原則を堅持しつつ、必要な防衛力整備で平和をつくる
▶毅然とした戦略的外交と現実的な安全保障政策で国民を守り抜く
- 8.政治とカネの問題に今こそ決着を
▶企業・団体献金の規制強化、政治資金を監視する第三者機関の創設を



ウェブサイト
SNS

比例は **中道** 改革
連合
略称: 中道(ちゅうどう)へ



まるお

丸尾
けいすけ

衆議院議員候補
中道改革連合公認
連合福岡推薦

43歳

現在の国民負担増による「税収増」から、国民負担を減らし、
所得を増やすことで経済成長を図り
「本物の成長からの税収確保」で日本を発展に導く。

負担軽減による所得増と、それに伴う経済成長から生まれる税収を増やし、国家を発展に導く!!

日本の税収は2020年に過去最高の60.8兆円となり、以降6年連続過去最高を更新し、2025年は80兆円に届く勢いです。1980年代後半から1990年代初頭のいわゆるバブル景気時でも税収は50兆円～60兆円。好景気の実感もなく、賃金も上がらず、ましてやコロナ禍もあったのに何故、日本の税収は過去最高に増え続けたのでしょうか。それは紛れもなく「国民の負担が増えた」からに他なりません。物価高の中、消費税の税収もこの6年間は右肩上がり、賃金が上がらない中で国民の生活は苦しくなるばかりです。政治は「国民負担を増やして税収を確保する」ことではなく、「国民負担を軽減し、所得を上げ、経済が回ることによって税収を確保することこそが本来の役割です。日本の政治を本来の姿を取り戻すため、全力を注ぎます。

新しい日本のカタチを目指す。

いまだに中央集権で進む日本の政治。地方分権を推し進め、個性豊かな地域社会の創造を。

少子化対策、子育て支援、待ったなし!

現在の少子社会は近年始まったものではありません。出生率が2.0を切ったのは1975年ごろ、本格的な少子化と言われる1.5を切ったのが1995年ごろです。これはこの問題を長い年月放置し、時代や社会の変化に対応してこなかった政治の責任です。経済協力開発機構(OECD)によると日本の子ども子育て支援に対する公的支出(2017年)はGDP比で1.79%しかなく、世界最低水準です。これは高齢者予算の1割程度にすぎず、子ども子育て予算の増額は必要不可欠です。

どうする? 経済。

日本の企業の99.7%は中小・小規模事業者であり、雇用も全体の約7割を担っています。中小・小規模事業者にもっと積極的な支援を行うことで循環型社会に活力を取り戻し、成熟社会に見合う「安定した成長」を築きます。

もう増やさない! 将来不安。若年世代に積極支援。

国の一般歳出に占める社会保障関係費は50%を超え、高齢化に伴い急増しています。医療や年金、介護制度の小手先の改革では、もはや将来不安を取り除くことはできません。給付と負担のバランスを踏まえた抜本改革の全体像を描いた上で歳出改革を行うとともに、持続可能な制度の構築を急ぎます。また、子育て世代の可処分所得を増やす社会保険料の改革や手当を積極的に進めていきます。

消費税、かくあるべし。

消費税は目的税として「年金、医療、介護、子育て」に充てるべきです。国民すべてに関係する消費税だからこそ、その用途について国民の理解と丁寧な議論が必要です。無論、歳出における無駄の削減は言うまでもありませんし、物価高の中やるべきは増税ではなく「減税」です。

山本 ぎょうせい

もっと詳しい政策は
こちらより

衆議院議員候補
日本維新の会公認

山本 ぎょうせい

(54歳)

未来への責任

国民のために
ブレずにはたく

大企業・富裕層の
大もうけを
給料アップに!

株価5倍
2025年

大企業の利益
3.5倍

株主への配当金
2.8倍

年収
マイナス
34万円

実質賃金
10%ダウン

2012年

2024年

日本共産党をのばして
自民党政治を変えよう

「富の一極集中」をただし
くらし応援にチェンジ!

●消費税5%減税 廃止めざす インボイス廃止

●大幅給料アップ 中小企業支援で最賃1700円

財源 大企業や富裕層への減税と優遇をただす「公正な課税」

「力の支配」のアメリカいいなりをやめ
平和の外交にチェンジ!

●「戦争国家づくり」の大軍拡に反対

●非核三原則の堅持。憲法9条まもる

戦争は
絶対ダメ

人権

●差別と分断、極右・排外主義の政治NO!

●ジェンダー平等社会実現へ

岩本 義孝

日本共産党

い
わ
も
と
よ
し
た
か

比例
代表は

日本共産党

と政党名で
お書きください
(比例は候補者名を書くは無効になります)

経歴 1968年福岡市生まれ

(この選挙公報は、候補者から提出された原稿をそのまま印刷したものです。)

(2)

日本列島を強く豊かに。

内閣総理大臣補佐官として高市総理を支え抜く!

この度、高市総理より内閣総理大臣補佐官(地域未来戦略担当)の重責を拝命いたしました。財務副大臣として国民の3.5人に1人が活用する「新NISA」を創設し個人所得の向上に寄与しました。

また、「天神ビッグバン」等の都市再開発や、福岡空港の機能強化、高速道路の空港延伸など、生活と経済に直結する成果を積み重ね、地元・福岡一区の代議士として日本一元気な都市への成長を強力に牽引してまいりました。

この福岡での成功体験を日本全国へ波及させ、高市総理を全力でお支えます。

各地域の潜在力を磨き上げ、国民の皆様が豊かさを実感できる具体的な「結果」を出すことに、不退転の決意で邁進してまいります。

福岡市は次のステージ 副首都へ!

衆議院議員として歩んだ13年、私は常に現場の声を大切に福岡の街とともに邁進してまいりました。市民の皆様の熱意により、福岡市は今や日本一の活力を誇る都市と称されるまでに目覚ましい発展を遂げました。

この福岡の成功モデルを全国津々浦々へ波及させ、地方から日本全体を再興させるべく、このたび高市総理より「地域未来戦略担当」の内閣総理大臣補佐官という大役を拝命いたしました。

「天神ビッグバン」「博多コネクティッド」といった都市再開発、地下鉄七隈線延伸や空港機能の強化と同時に博多祇園山笠などの伝統文化を次世代へ守り伝えます。地域を守り、文化を尊ぶ。その先に、福岡市が日本の「副首都」として機能する未来があります。福岡の活力を日本の力に変えるため、次のステージへ全力で挑戦し続けます。



自由民主党公認
衆議院議員候補
井上たかひろ

投票日 2月8日 日

◆ 投票日当日の投票時間は、原則として 午前7時から午後8時までです。

(ただし、一部の地域で、この時間と異なる場合がありますので、
市区町村の選挙管理委員会にお問い合わせください。)

大事な投票、忘れずに!



◆ 投票日当日に用事などがある場合は、 2月7日まで「期日前投票」ができます。

- ・ 仕事や冠婚葬祭、旅行などの理由でも利用できます。
- ・ 投票日の前日まで、選挙人名簿に登録されている市区町村の期日前投票所で投票ができます。
- ・ 期日前投票の投票時間は、土曜日、日曜日も含めて、
原則として午前8時30分から午後8時までです。

(ただし、一部の期日前投票所では、投票期間や投票時間が異なる場合があります。)

※入場券が届かなかったり、入場券をなくしたりした場合でも、
選挙人名簿に登録されていれば投票できます。

※選挙公報の掲載順は、くじによって決められたものです。立候補の届出順とは異なる場合があります。

◆ インターネットを利用した選挙運動

18歳以上の有権者は、ウェブサイトを利用した選挙運動を行うことができます。
ただし、電子メールを利用した選挙運動ができるのは、候補者や政党等に限られますので、
注意してください。

※ 選挙運動ができる期間は、投票日の前日までになります。

有権者が選挙運動に利用できるインターネットサービス

- ・ ホームページ、ブログ、掲示板など
- ・ 動画配信サイト（YouTubeなど）
- ・ SNS（LINE、X [旧 Twitter]、Facebookなど）
- ※ 選挙運動用ウェブサイト等には、電子メールアドレス、返信用フォームのURL、SNSのユーザー名などの連絡先を表示しなければなりません。
- ※ SNSのトークやダイレクトメッセージ機能も利用可能

◆ やってはいけない！ 選挙運動のNG集



メールを使っでの選挙運動はNG！

メールで選挙運動用の文書や写真などを送ることができるのは、候補者や政党等だけです。
候補者や政党等から送られてきたメールを転送してもいけません。



ホームページやメールなどを印刷して配るのはNG！

選挙運動用のホームページや候補者・政党等から届いた選挙運動用のメールなどをプリントアウトして配ってはいけません。



名前などを偽って送信するのはNG！

候補者を当選させる、またはさせない目的で、ウソの名前や身分を名乗って、
情報を発信することは禁じられています。



候補者に関するウソの情報の公開はNG！

候補者を当選させる、またはさせない目的で、候補者に関する虚偽の情報や、
真実を歪めた情報を広めたりすることは、罰せられます。

候補者に対して誹謗中傷をする等、表現の自由を濫用して選挙の公正を害することのないよう、
インターネットの適正な利用に努めてください。

※選挙公報の掲載順は、くじによって決められたものです。立候補の届出順とは異なる場合があります。